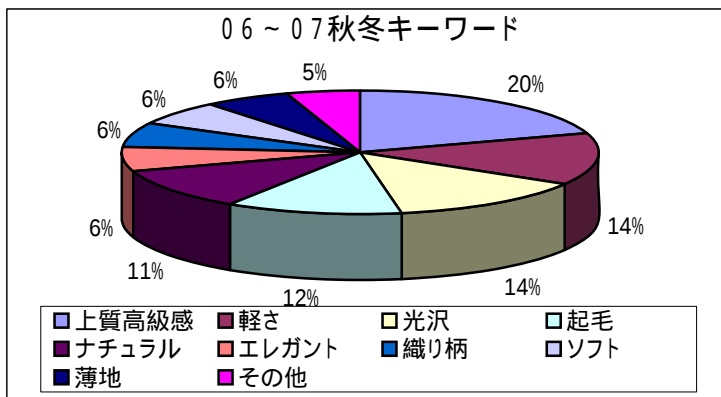


■ 読む統計

06/07秋冬テキスタイル・キーワード

織研新聞行ったアンケート調査によると06/07年秋冬物のテキスタイル・キーワードで、最も集票したのは「上質・高級感」で20%（28点）、次いで「軽さ」、「光沢」が共に14%（19点）、ベロア・ベルベットなど「起毛」が17%（17点）、「ナチュラル」が11%（15点）であった。「エレガンス」、ドビー・ジャカードなど「織り組織」、「ソフト」はいずれも6%（9点）であった。

「上質・高級感」、「光沢」はカシミア、モヘアなど尾州産地が得手とする分野だが、同時に「軽さ」も求められていることになる。



参考までに05/06秋冬は「上質・高級感」29%（30点）、「軽さ」21%（21点）、「光沢」20%（20点）、「エレガンス」17%（17点）、「ソフト」13%（13点）で、この5項目に集中していた。この点で06/07シーズンの素材は多様化の方向にあるといえよう。

他産地は今、活路を求めて

4社が「プレミアムジャパンクラブ」開催

いわなか、鈴倉インダストリー、丸満商店、佐藤繊維は共同でテキスタイル見本市「プレミアムジャパンクラブ」を10月19～21日、東京・港区の六本木オリベホールで開催した。高級品で量産型のテキスタイルメーカーが高付加価値市場のユーザーに提案するのが狙い。展示商品は定番40%以下、新商品60%以上という申し合わせを行った。

この合同展はウールのいわなか、化合織の鈴倉インダストリー、シャツ生地の丸満商店、ニットの佐藤繊維が、得意分野を持ち寄ることで、商品バラエティと集客力高めた。参加企業の特徴は 自社で東京での展示会を経験している 自社工場を保有している 自社で商品企画を行っている 生地問屋、アパレル、海外企業の来場に対応できる 商品が

高付加価値向け コピー製品を陳列しない
展示商品は定番40%以下、新商品60%以上—などを条件とした。

このうちいわなかはパリのテキスタイル見本市PV（プルミエール・ヴィジョン）で評価の高かった「タスマニア・チェブー」、シェットランドウールをベースにチクチク感がなく膨らみのある「シェット・テック」などを提案した。

今後、一分野1社に絞り込んで、最大10社程度の参加を見込んでいる。参加条件はさきの7項目を基準にする。

